

LIBRARY NEWS

令和5年10月27日 No.7

新座市立第三中学校

校長 石田 和男

(図書室だより) 図書整理員 名本 浩子

『天高く 馬肥ゆる秋』。時候の挨拶にもなっているこの言葉。秋の空は「澄んだ青空」というイメージがありますが、それには理由があります。10月中旬から11月は、大陸からの移動性高気圧に覆われやすく、空気が乾燥しています。空気中の水分やチリが少ないと、太陽からの青や紫の波長が届きやすく、より空が青く見えるのだそうです。また、秋に見られる『巻積雲』とよばれる「イワシ雲」や「ウロコ雲」は、空の高いところに位置します。さらに、空気が澄んで空の透明度が高くなることから、秋の空は夏に比べて高く感じるそうです。

そのことを思いながら、改めて空を見上げると、空は、いろいろな表情を見せてくれます。まさに“モクモク”という表現がピッタリな雲や、刷毛でサッと空を白く塗ったような雲、雲一つない快晴。また、夕暮れ時には、オレンジに染まっていくグラデーションの美しさ。毎日、空を眺めるのが楽しくなります。

さて、今号では、「芸術（音楽）の秋」に関する本の紹介をします。

YOASOBIの楽曲の原作小説『夜に駆ける』。THE BACK HORNとの共作、住野よるの『この気持ちもいつか忘れる』。2人組音楽ユニットDUSTCELLの楽曲を小説化した 中村紬の『クロスの行方—DUSTCELL 小説集—』、カンザキ イオリの『親愛なるあなたへ』など、楽曲と小説のコラボ作品は、今までにも、数多く作られています。

今回は、カンザキ イオリが読者から募集した物語を楽曲化し、その楽曲を、バーチャルシンガー 花譜が歌い、この曲をモチーフにした物語を綾崎 隼が書き下ろした小説、『それを世界というんだね 空を落ちて、君と出会う』からの出題です。

舞台となる“物語管理局”で少女は記憶を失っていた。この“物語管理局”とは、物語の中で幸せになれなかった者だけがたどり着く場所だという。ここで少女は、任務にあたっていた“王子”と呼ばれる少年と出会い、2人は、物語の世界に飛び込み、不幸な登場人物を幸せにしていこう。しかし、2人は“物語管理局”の城主、親指姫や雪の女王が、彼らに嘘をついていることに気づく。いったい自分たちは だれなのか。

ここで、問題です。物語の中で不幸になった者を救うために、少女と少年が飛び込んだ物語は、次のうちのどれでしょう。

- ① 人魚姫
- ② オオカミがきた
- ③ フランダースの犬



前号のクイズの答え、『いい人ランキング』で、桃の同級生の沙也子がした よい行いは、③の「捨て猫を保護し、里親を見つける活動をした」でした。

今号の問題の答えの本は、分類番号913、新着図書コーナー、48の棚にあります。小説の元になった楽曲を聴きながら、秋の読書を味わってみてください。

読書週間 10月27日(金) ~ 11月9日(木)

ハロウィンしおりゲットキャンペーン

10月23日(月)~11月9日(木)

期間中、図書室で本を借りた人に、ハロウインのかわいい

“しおり”を **もれなく** プレゼント! 全13種。

昨年のデザインに新しく3種加わりました!

コンプリート目指して、ぜひ図書室に来てください!



2023 読書週間標語
「私のペースで
しおりは進む」



